

みやぎのだより

No. 106

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

平成30年9月27日



第16回 乳用牛ベビーショー

CONTENTS

第16回乳用牛ベビーショー開催……………	1	輸入粗飼料情勢……………	7
青年部・婦人部平成30年度通常総会開催……………	2	牛群検定 ～牛群検定実施状況全国調査について～……………	8
第14回酪農フレンズパーティー開催のお知らせ…	2	平成30年度 生乳生産実績……………	9
第47回全国酪農青年女性酪農発表大会 開催される……………	3	理事会通信……………	9
おおさきジャンボ肉まつりinたじり……………	4	業務報告……………	10
仙台市ガス局共催料理教室開催される……………	4	人事のお知らせ……………	11
酪農技術シリーズ⑬……………	5	編集後記……………	11

第16回乳用牛ベビーショー開催

指導課

8月20日(月)に美里町のみやぎ総合家畜市場において、みやぎの酪農協青年部主催の、第16回乳用牛ベビーショーを開催しました。

昨年に引き続き、全農と宮城酪農協の組合員にも参加をしていただきました。

審査員には岩手県葛巻町の酪農家 折元大樹氏を迎え、総頭数30頭の出品牛を第1部から第5部に区分し審査が行われました。

審査後の昼食では、牛群改良などの意見交換が行われ、さらに交流が深まりました。

入賞者は以下のとおりです。



第16回 乳用牛ベビーショー成績一覧

区 分	最 優 秀 賞	優 秀 賞	優 良 賞	グランドチャンピオン
第1部	アイスヴィレツジ アティック アリス 13950-2961-4 (有)小山牧場 (栗原支部)	YNS ドアマン ローヤルスター 15614-0992-9 千葉 義文 (JA加美よつば)	アイスヴィレツジ サンチエス ソロモン 13950-2970-6 (有)小山牧場(栗原支部) MHファーム パープル ドアマン 15563-5446-3 (株)MHファーム(JA加美よつば) 申請中 15477-5522-4 八巻 楓(大崎支部)	ブラメリア エボニー スギ 08656-2241-6 宮城県農業高等学校
第2部	ブラメリア エボニー スギ 08656-2241-6 宮城県農業高等学校	スイートファーム J K イバンカ 15089-9350-4 鈴木 貴博	エクセレントファーム ホルトン ジョーダン 15460-2900-5 鈴木 義博(栗原支部) エイトロール ベントレー ピアレス 15477-5514-9 八巻 楓(大崎支部) マルチファーム ダイキ ドアマン アベル E T 15641-1949-8 細川 信寿(仙台支部)	
第3部	インサイドベイ アルタオーク リーフ 13571-5391-3 内海 一善 (宮城酪農)	リトルアイランド モントレー ソフィー 15119-6725-7 小島 一也 (仙南支部)	フィールドヴィレツジ チップ ディーラン 15511-1608-0 野村 泰仁(大崎支部) アイスヴィレツジ レジナルド メリディアン 13870-2944-8 (有)小山牧場(栗原支部)	
第4部	インサイドベイ チップ センセーション 13571-5386-9 内海 一善 (宮城酪農)	リバースマウンテン K H ルーベン 15501-0822-2 小峯 真喜 (仙南支部)		
第5部	エクセレントファーム ヘグマン ドロシー スパイラル 13790-2842-8 鈴木 義博 (栗原支部)	ビーチフィールド シド ヘブン 15084-7497-3 濱田 賢志 (大崎支部)	エイトロール GC ドアマン ピアレス 14281-5472-6 千葉 義文(JA加美よつば)	

青年部・婦人部平成30年度通常総会開催

指導課

8月9日(木)松島町「ホテル松島大観荘」において、みやぎの酪農協青年部及び婦人部の平成30年度通常総会を開催しました。

総会は各支部から2名ずつの代議員によって、各執行部から提案された平成29年度事業報告と平成30年度事業計画案が協議され、いずれも原案通り承認可決されました。

婦人部の総会前には、16年にわたり本部の部長としてご尽力していただきました甲田和子様には花束が贈呈されその功績を讃えました。

また、昼食を兼ねた交流会では青年部・婦人部とも同一会場で行われ和気あいあいとした中、相互理解が深められた一日となりました。



第14回酪農フレンズパーティー開催のお知らせ

指導課

当組合では、酪農後継者育成事業の一環として酪農家の独身男性と一般の独身女性との交流を促し、新たな出会いの場と交流の輪を広げていただくため、酪農フレンズパーティーを開催します。気軽に参加していただけるパーティーを計画していますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

開催日：12月2日(日)

時間：11時00分より

開催場所：仙台市 勝山館



第47回全国酪農青年女性酪農発表大会開催される

指導課

7月19日・20日、広島県広島市の『グランドプリンスホテル広島』におきまして、全国酪農青年女性会議主催による第47回全国酪農青年女性酪農発表大会が開催されました。

大会は全国6地域から選出されました「経営発表の部」6名、「意見・体験の部」6名の計12名が発表を行いました。本組合青年部・婦人部からは8名が参加し、全国の酪友との交流ができ大変有意義な場であったと思います。

審査の結果、「経営発表の部」最優秀賞には「わくわくする酪農経営は地域と共に！」と題して発表された宮崎県新富町の本部 博久さんが受賞されました。審査員特別賞として、「地域に必要とされる攻めのジャージー酪農」と題して発表した岡山県真庭市の美甘 正平さんが受賞されました。

また、「意見・体験の部」最優秀賞には、「広尾町にマドリンあり！～大きな架け橋でありたい～」と題して発表された、北海道広尾町の砂子田 円佳さんが受賞されました。



おおさきジャンボ肉まつりinたじり

宮城県牛乳普及協会

8月26日(日)に大崎市田尻総合体育館グラウンドにおいて「おおさきジャンボ肉まつりinたじり」が開催されました。

当日は雨の影響で客足は少なかったが、当協会では、牛乳試飲とパンフレットの配布を行い、約600名のお客様に牛乳の試飲をしていただきました。

今後とも少しでも多くのイベントに参加し、消費者との交流を図るとともに、酪農乳業の理解醸成を行い、牛乳の消費拡大に繋がる普及活動を行ってまいります。



仙台市ガス局共催料理教室開催される

宮城県牛乳普及協会

8月29日(水)仙台市ガス局ガスサロンのキッチンパレットにて「ミルク料理教室」を開催いたしました。講師には、雪印メグミルク株式会社の菊地先生と桜井先生を迎えました。

メニューは、ヨーグルトのこくで旨みのある「インド風キーマカレー」、マヨネーズの代わりに牛乳を使用した「ミルクポテトサラダ」、さけるチーズをスープに入れた「レタスとさけるチーズのスープ」、デザートは美容効果のある「ヨーグルトのレアチーズローズhipジュレ添え」を作りました。

試食をしている際には、牛乳の味の変化に関する事やカルシウム、骨に関するお話をいただきました。カルシウムは体内で作ることができないため、食事などから摂取するしかありません。また、摂取したカルシウムはすべて体内に留めておくことができないため、毎日摂取することが大切です。骨粗鬆症予防のためにも、日々の食生活に積極的に牛乳・乳製品を取り入れて下さい。

今回のレシピや参加者の方々の様子は、当協会ホームページに掲載しておりますのでぜひご覧下さい。

URL <http://miyagi-milch.jp/>



乳房炎対策について

いつもお世話になっております。さて、暑さの厳しい夏が過ぎ、秋がやってまいりました。

牛の調子はいかがでしょう？人も牛も季節の変わり目は体調を崩しやすい時期であるため用心が必要です。季節の変わり目は、気温の上下が大きく、知らぬ間に体に負担がかかっています。

これは牛も同様です。夏を乗り切ったらなんだか乳房炎が増えてきた…なんてことはないでしょうか。“きっかけ”は様々考えられますが、気温差による“免疫力の低下”は一つの要因です。

免疫力が低下している・しやすい時には普段よりもケアが必要になってきます。今回は基本に立ち返って、搾乳方法からみる乳房炎ケアについて触れていきたいと思います。基礎的な部分が多くなりますが、最後までお付き合いいただけましたら幸いです。

● 体細胞による経済的な損失

体細胞が2倍に増えると、1日あたり0.7kgの乳量を損失すると言われています。

搾乳頭数30頭・体細胞20万⇒40万に増えた場合で損失を計算してみますと

※簡易計算の為、乳価は100円で計算

生産乳量損失0.7kg×乳価100円=70円/日・頭 (1日1頭当たりの損失)

70円×30日=2,100円/月・頭 (1か月1頭当たりの損失)

2,100円×30頭=63,000円/月間 (1か月当たりの損失)

63,000円×12か月=756,000円/年間 (1年当たりの損失)

この数字は、体細胞数が2倍になることによる乳量損失額です。乳房炎になると、上記の金額の他にも治療費・淘汰・ペナルティなど様々な損失が加算されます。また、体細胞数の増加は、乳量損失以外にも、初回授精の遅れ、分娩間隔延長、受胎率の低下など繁殖成績の低下にも影響をもたらすと言われています。よって、乳房炎による損失を減らすためには、乳房炎をいかに治すかではなく、いかに予防するかが重要となってきます。

● 乳房炎はなぜ起こる

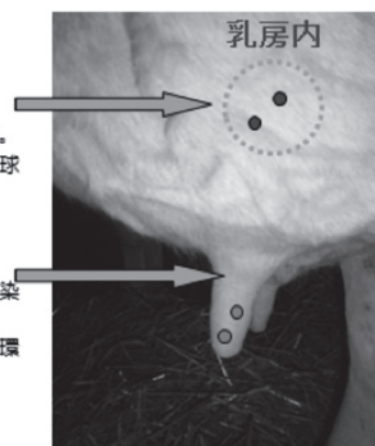
乳房炎は乳腺の炎症です。炎症は外傷や搾乳時に乳頭口を通して乳房に入り込んだ微生物によって乳を分泌する乳腺組織で起こります。この微生物の中には、伝染性のものと環境性の2つに大別されます。

体細胞の一部は乳腺が死滅した乳汁分泌細胞由来であり、体細胞の大部分は、炎症に反応して乳腺に侵入してくる白血球です。

全ての乳房炎は、牛の外にいるバクテリア（微生物）が乳房の中に侵入して感染します。バクテリアによる汚染は通常、搾乳と搾乳との間に発生し、感染は通常、搾乳中に発生します。

乳房炎原因菌

- 伝染性バクテリア
 - 搾乳中に牛から牛へ伝播する。
 - 無乳性連鎖球菌／黄色ブドウ球菌／マイコプラズマ
- 環境性バクテリア
 - 搾乳と搾乳との間に乳頭が汚染され、搾乳中に感染する。
 - 環境性連鎖球菌／大腸菌群／環境性（表皮）ブドウ球菌



● まずはきれいな環境から

良い乳質を保ち、効率良く搾乳するために重要なことは、乳房と乳頭に汚れが付いてなく清潔であることです。

牛は一日の半分を横になって過ごし、この間、乳頭・乳房を直接敷料に接触させています。牛を『清潔で、乾いた、居心地の良い状態』に保つためには、清潔な敷き料が必要であり、この時、いかに細菌との接触を防げるかが乳房炎防除の決定要因となります。



● 正しい搾乳手順で搾乳を行いましょう

きれいな環境を用意することと同時に、正しい搾乳方法が重要となります。

今回は、乳房炎対策に効果的と言われている搾乳方法をご紹介します。

搾乳手順	ポイント
①手袋の装着	手は菌の温床となっています。手袋を装着し、なるべく菌が溜まらないようにします。
②乳頭清拭	乳頭側面・乳頭口を優しく確実に清拭します。また乳房底面のふき取りも併せて行います。
③プレディッピング	認可のあるディップ剤で乳頭をディップします。ディップ後は 30 秒程放置します（消毒効果を出すため）。
④前搾り	1 乳頭 5 回以上搾ります。ブツの有無を確認します。 前搾り後、手洗いをお勧めします（汚れたディップ剤が手に付着しているため）。
⑤乳頭清拭	プレディップ剤を拭きながら乳頭口の汚れを意識してふき取ります。
⑥ミルカー装着	①から約 90 秒後の装着が理想です。
⑦ユニットのアライメント	ミルクホースと牛体が並行になるよう調整します。搾乳スピードとライナースリップ防止に効果があります。
⑧ミルカー離脱	シャットオフバルブを 閉じ（真空を切り）、一呼吸おいて優しく外します。
⑨ポストディッピング	認可のあるディップ剤で乳頭をディップします。乳頭をディップ剤で覆うことで、乳汁を洗い流し、且つ、乳頭口が閉じるまで乳頭口を保護します。

● 最後に

最後までお付き合いいただき有難うございました。

今回は触れませんでした。環境・搾乳方法以外にも乳房炎対策のポイントはございます。（左図）

搾乳機器の整備、搾乳順序、乾乳期間中の管理がポイントとなります。

乳房炎が気になるという方は、今一度、各項目を振り返ってみていただけます様、お願いいたします。

乳房炎対策の5原則

1. 乳房を清潔に保つ。
2. 正しい搾乳手順を採用する。
3. 搾乳器械を正しく維持し、使用する。
 - 小規模牛群では年に1-2回の点検。
 - 大規模牛群では最低3ヶ月に1度の点検。
 - ライナーの交換（ゴムは1500搾乳）。
4. 伝染性病原菌に対する生物学的安全性を維持する。
 - 搾乳順序を考える。
 - 導入牛や初産分娩牛には注意しなければならない。
5. 適正な乾乳牛管理を実践する。
 - 乾乳期治療と牛を清潔に保つ。

北米コンテナ情勢

7月より各船会社は燃料が高騰していることから海上運賃の一斉値上げを実施しております。

今年は台風の発生が多く日本、韓国、中国への入船遅れが発生しており接続船とのスケジュールが混乱しております。秋以降も米国西海岸からの農作物等の輸出品が増えることからしばらくは入船遅れが発生しやすくなると予想されます。

輸入粗飼料

①ビートパルプ(US産)

日本向けの主産地では8月中旬より収穫が開始されております。作柄は地域により多少の差はありますが収穫量は平年並みかやや上回ると予想されております。欧州の早魃の影響や米国内からの引き合いも強いことから価格は堅調に推移すると予想されます。

②アルファルファ

(A)ワシントン産

主産地では3番刈りが終了しております。7月に大規模な山火事が発生しその煙の影響で圃場での乾燥時間が長くなり色目落ちや、葉つきが悪いなどの中級品の発生が多くなっております。

(B)オレゴン産

南部のクラマスフォールズは3番刈りが終盤です。2番刈りは一部で降雨被害がありましたが、その後は天候が回復して色目、葉つきのよい上級品の発生が多くなっております。産地相場も米国内からの引き合いが強く価格は堅調に推移しております。

中部のクリスマスバレーでは2番刈りが終了しております。こちらも大きな問題は発生していない模様で、品質は例年並みです。相場はクラマスフォールズ同様に堅調に推移しております。

③チモシー

(A)US産

2番刈りが終盤です。アルファルファ同様に山火事の影響で乾燥時間が長くなり色目がよくないと予想されます。上級品は発生量が限られていることから高値で推移されますが、中級品以下は軟化すると予想されます。

(B)カナダ産

レスブリッジ地区では1番刈りが終了しており2番刈りの収穫が開始されております。1番刈りは上級品の発生が多いようです。相場につきましては韓国からの引き合いが強いことや、米国産が高騰していることから価格は昨年より上昇しております。

クレモナ地区では収穫時期の天候が安定しなかった為、上級品の発生は少なく中級品以下の発生が多くなっております。また早魃の影響から収量も例年と比較し大きく減少している模様です。

④豪州産オーツヘイ

西豪州産は十分な降雨があり順調に生育しており、収量は例年並みかそれ以上と見込まれ10月上旬より収穫が開始される予定です。

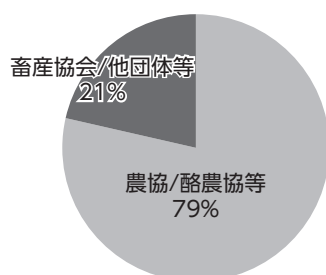
南豪州では一部地域では十分な降雨がありますが、深刻な早魃の地域もあり収穫量は例年より2割程度減少すると予想されております。

東豪州では降水量が少なく深刻な早魃で一部では立ち枯れも発生しており収穫量は例年より4割程度減少すると予想されます。

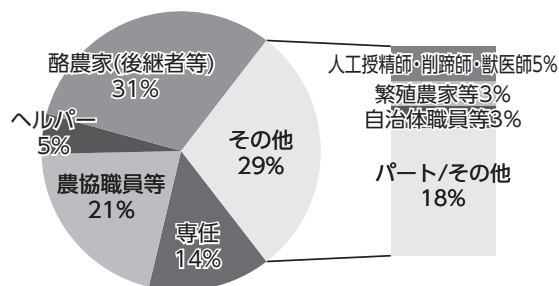
以上のような状況の中、安定供給に努めてまいりますので、ご理解いただき引き続きご利用賜いますようお願い申し上げます。

乳用牛の生産性を向上させるためには、牛群検定を実施し、1頭毎の乳量・乳成分・繁殖成績・濃厚飼料給与状況などの基本情報を把握することが大切です。宮城県牛群検定普及推進協議会では、もっと多くの酪農家の皆様に牛群検定を実施して頂き、関係機関と協力しながら生産性の向上に向けたお手伝いをできればと思っております。そこで、県外の牛群検定実施状況を参考としてよりよい支援体制を構築するため、牛群検定の実施状況及び支援等に関する全国調査（対象：28都府県）を平成29年度に実施しましたので、その結果をご紹介します。

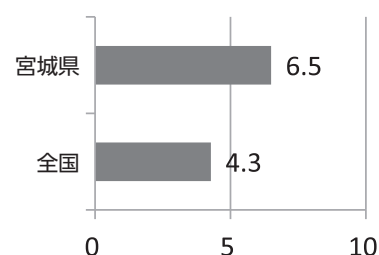
1 検定組合設置状況(全国)



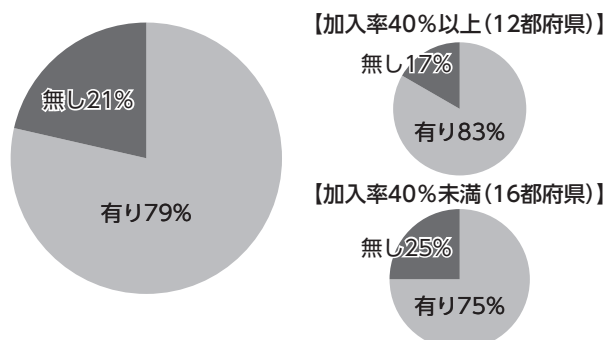
2 検定員の職業割合(全国)



3 検定員1人に対する検定農家数(戸)



4 検定組合への自治体/農協等助成状況

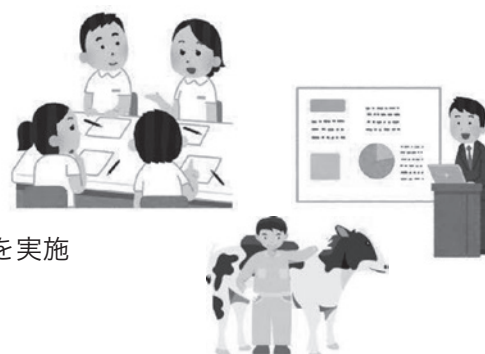


助成内容(例)

- ・検定料金の補助
- ・優良雌牛・初妊牛の導入補助
- ・乳用雌子牛の育成経費補助
- ・新規加入・継続加入への助成
- ・更新経費助成（1頭あたりの平均乳量が向上した場合）
- ・受精卵供給事業における優先配分
- ・牛群検定用ミルクメーターの購入経費助成
- ・補助事業の採択要件のポイント優遇

5 各県における検定支援体制の事例

- ◎ 若手農業者や新規就農者への検定実施を推奨
- ◎ 優良事例を紹介して牛群検定の普及を推進
- ◎ 指導員のスキルアップ研修を定期的に開催
- ◎ お試し検定の実施を推進
- ◎ 検定加入農家と関係機関で地域の勉強会を定期的に開催
- ◎ 検定の事務局で指導体制を構築し、各関係機関が連携して指導を実施
- ◎ 普及指導員の技術継承に力を入れ、相談対応窓口として機能



6 調査結果から

牛群検定の普及推進には、十分な検定員の確保、指導者の育成強化、関係機関の連携強化が重要であると考えられました。今後も生産者の皆様が牛群検定成績を有効活用して生産性を上げられるよう、県の支援体制向上に努めたいと思います。

〔文：宮城県農林水産部畜産課 生産振興班 佐沢〕

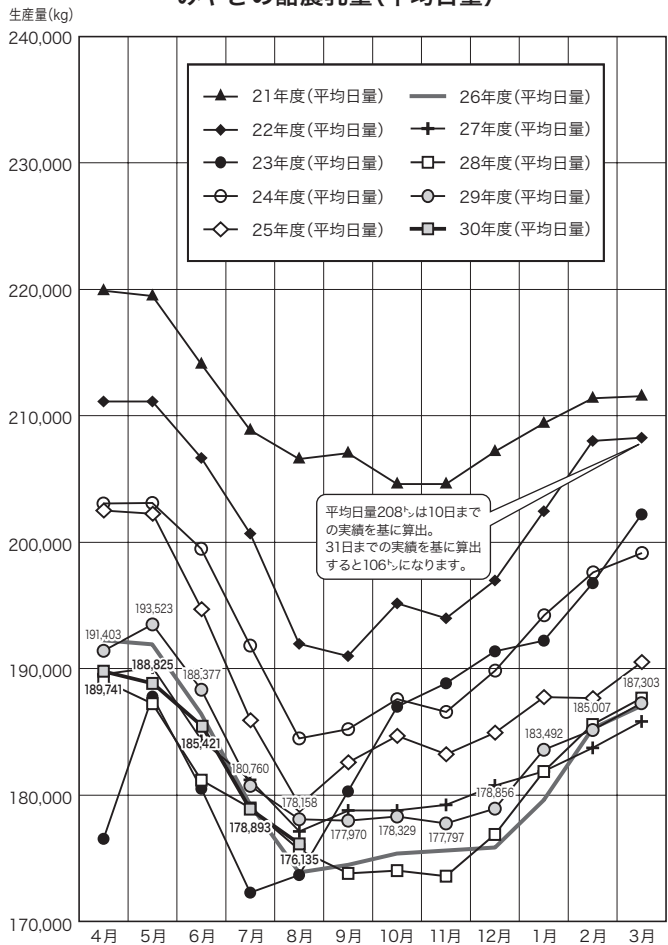
牛群検定には6ヶ月間無料で体験できるお試し検定事業があります。
牛群検定を始めてみようかな、と思われた方は下記までご相談下さい。

- | | | |
|--------------|----------------------|-------------------|
| ・宮城県ホルスタイン協会 | 〔(一社) 宮城県畜産協会内〕 | TEL: 022-298-9750 |
| ・県南乳用牛群改良組合 | 〔(一社) 宮城県畜産協会仙南事業所内〕 | TEL: 0224-52-2523 |
| ・県北乳用牛群改良組合 | 〔(一社) 宮城県畜産協会中央事業所内〕 | TEL: 0229-34-3304 |

平成30年度 生乳生産実績

販売課

みやぎの酪農乳量(平均日量)



平成30年度生乳生産実績(4月～8月 標準進捗率41.92%)

(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	ハルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	計画生産数量	進捗率
白 石 支 部	22	2,794,146.2	2,753,742.6	101.47	6,564,964.0	42.56
七ヶ宿支 部	6	1,062,007.6	1,022,333.6	103.88	2,480,947.0	42.81
蔵 王 支 部	25	3,607,195.2	3,398,770.0	106.13	8,313,486.0	43.39
柴 田 支 部	17	1,756,547.6	1,778,465.0	98.77	4,167,393.0	42.15
角 田 支 部	7	877,238.0	942,207.0	93.10	2,200,642.0	39.86
丸 森 支 部	13	1,327,767.2	1,381,182.0	96.13	3,215,480.0	41.29
仙 台 支 部	12	1,626,285.5	1,599,711.8	101.66	3,753,861.0	43.32
名 取 支 部	6	395,956.0	371,021.0	106.72	916,535.0	43.20
黒 川 支 部	6	506,667.0	565,971.0	89.52	1,217,739.0	41.61
大 崎 支 部	19	1,496,198.0	1,512,152.0	98.94	3,497,216.0	42.78
遠 田 支 部	16	2,643,728.0	2,592,568.0	101.97	5,983,151.0	44.19
加 美 支 部	19	1,149,555.0	1,232,680.0	93.26	2,677,853.0	42.93
鳴 子 支 部	12	906,089.0	905,520.0	100.06	2,191,421.0	41.35
一 迫 支 部	12	1,318,390.0	1,301,654.0	101.29	3,066,957.0	42.99
築 館 支 部	14	810,402.0	939,597.0	86.25	2,137,794.0	37.91
瀬 峰 支 部	7	491,703.0	535,034.0	91.90	1,276,473.0	38.52
迫 支 部	12	1,806,137.0	1,972,079.0	91.59	4,457,248.0	40.52
中 田 支 部	8	674,890.0	654,887.0	103.05	1,598,876.0	42.21
東 和 支 部	7	520,802.0	533,782.0	97.57	1,217,732.0	42.77
志 津 川 支 部	9	579,203.0	586,879.0	98.69	1,428,906.0	40.53
本 吉 支 部	8	351,840.0	456,749.0	77.03	904,453.0	38.90
石 巻 支 部	6	435,285.0	462,087.0	94.20	1,079,426.0	40.33
豊 里 支 部	12	976,285.0	1,019,980.0	95.72	2,398,447.0	40.70
みやぎの酪農	275	28,114,317.3	28,519,052.0	98.58	66,747,000.0	42.12

※出荷戸数については、直近の数字です。

理事会通信

総務課

【第4回理事会】

開 催 日 平成30年7月30日

付議事項 第1号議案 理事の順位等について
第2号議案 生乳委託販売規程の一部変更等について
第3号議案 固定資産の取得について(哺育センター育成舎屋根カバー工務工事)

【第5回理事会】

開 催 日 平成30年8月27日

付議事項 第1号議案 固定資産の取得について(哺育育成センター外トイレ工務及び給水工務工事)

7月2日	宮城県酪農ヘルパー利用組合役員会	本	南	所
7月3日	青年部本吉支部総会	三	陸	町
	宮城県ホルスタイン協会総代会	仙	台	市
	全日本ホルスタイン共進会宮城県対策委員会	仙	台	市
7月4日	青年部仙南支部総会	大	河	町
	全酪連役員選考委員会	仙	台	市
7月5日	酪農労働力セーフティネット強化事業等検討会	東	京	都
	東北生販理事会	仙	台	市
7月6日	地域交流牧場全国連絡会東北ブロック支所担当者会議	仙	台	市
	家畜防疫互助基金支援事業推進会議	美	里	町
	全酪連ブロック会議	仙	台	市
7月7日	J A 栗っこ酪農部会交流会	栗	原	市
7月9日	青年部役員会	本		所
	婦人部役員会	本		所
	名取支部総会	亘	理	町
	畜産経営技術高度化推進事業指導研究会総合委員会	仙	台	市
	畜産特別資金推進指導事業推進協議会	仙	台	市
7月10日	黒川支部総会	大	和	町
	涌谷町飼料増産組合総会	涌	谷	町
7月12日	土地改良調査栗原地区調査推進検討会	栗	原	市
	宮城県家畜人工授精師協会本吉支部総会	気	仙	沼
7月13日	婦人部仙南支部総会	大	河	原
	全酪連仙台支所懇談会	仙	台	市
7月17日	角田市酪連総会	角	田	市
	宮城県酪農協会幹事会	本		所
7月18日	婦人部石巻支部総会	登	米	市
	青年部登米支部総会	登	米	市
7月19日	青年部石巻支部総会	涌	谷	町
	青年部仙台支部総会	仙	台	市
	全国酪農青年婦人会議酪農発表大会 ～ 21日	広	島	県
7月20日	加美支部交流会	加	美	町
	牛乳職人倶楽部総会・認定表彰式	大	和	町
	宮城県牛乳普及協会総会	仙	台	市
7月23日	東北生販総会	仙	台	市
	東北生販理事会	仙	台	市
	日本ホルスタイン登録協会東北地区登録委員研修会 ～ 24日	仙	台	市
7月24日	生産力強化対策・現場との意見交換会	仙	台	市
	仙台支部総会	仙	台	市
	宮城県酪農協会監査会	本		所
7月25日	本吉町有機肥料センター利用組合総会	気	仙	沼
	宮城県酪農青年研究連盟創立60周年記念式典	大	河	原
7月26日	全酪連総会	東	京	都
	宮城県酪農団体合理化検討会専門部会	本		所
7月27日	県北乳用牛群改良組合総会	美	里	町
	牧草地簡易更新事業追播スケジュール打合せ	本		所
	肉用子牛生産者補給金制度調査指導	本		所
7月30日	第4回理事会	本		所
	婦人部仙台支部総会	仙	台	市
7月31日	J A みやぎ中央会臨時総会	仙	台	市
	宮城県酪農ヘルパー利用組合総会	本		所
	東北酪農生産研究会海外研修渡航説明会	仙	台	市
	日本酪農政治連盟常任・中央委員合同委員会	東	京	都
8月1日	青年部仙台支部溪流つり大会	川	崎	町
8月2日	婦人部大崎支部総会	色	麻	町
	広域的預託推進事業説明会	仙	台	市
	新マルキン現地巡回	本		所

8月3日	青年部大崎支部総会 石巻支部研修会	大石	崎	市
8月7日	加美支部移動研修会	仙	台	市
8月8日	東北農政局子ども見学デー DMS相談会 宮城県酪農協会総会・研修会	仙	台	市
8月9日	青年部総会 婦人部総会	仙	台	市
8月10日	柴田支部懇親会 ～11日	松	島	町
8月17日	青年部石巻支部研修会	村	田	町
8月20日	第16回乳用牛ベビーショー 監事研修 ～21日	美	里	町
8月21日	DMS相談会 機械導入事業・酪農事業説明会(申請手続)	名	取	市
8月22日	遠田支部研修会 全酪連会員指導・購買職員初級研修 ～24日 東北酪農青年婦人会議役員会	仙	南	支
8月23日	婦人部栗原支部パークゴルフ大会 モ～ランドまつり2018実行委員会 旅行会役員会 機械導入事業・酪農事業説明会(申請手続)	本	三	陸
8月27日	第5回理事会	福	島	町
8月28日	迫・中田・東和支部合同研修会 酪農乳業食育推進研修会	仙	台	市
8月29日	宮城県合理化検討会専門部会 料理教室	栗	原	市
8月30日	東北生販事業推進委員・支所実務者合同会議 蔵王支部研修会	気	仙	沼
8月31日	生乳取扱者研修事業認定委員会	本	南	支
		仙		所
		登	米	所
		東	京	市
		本		都
		仙	台	所
		仙	台	市
		蔵	王	市
		仙	台	町

人事のお知らせ

区 分	氏 名	新 職	旧 職	発 令 日
正 職 員	菅 原 光 義	総務課総務係長	指導課指導係長	平成30年8月1日
正 職 員	小 島 学	指導課指導係	仙南支所指導係	平成30年8月1日
正 職 員	富 士 野 武 志	購買課購買係	仙南集乳所(仙南CS)販売係	平成30年8月1日
正 職 員	佐 藤 敬 庸	仙南支所指導係長	購買課購買係	平成30年8月1日
正 職 員	浅 野 博 紀	仙南集乳所(仙南CS)販売係	総務課総務係	平成30年8月1日

[編集後記]

平成最後の夏、日本列島は猛暑・台風・大地震と自然災害の恐ろしさを改めて感じさせられました。近年、異常気象と呼ばれている事が通常となりつつあります。今一度、非常食など防災について再確認してみてもいかがでしょうか。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)